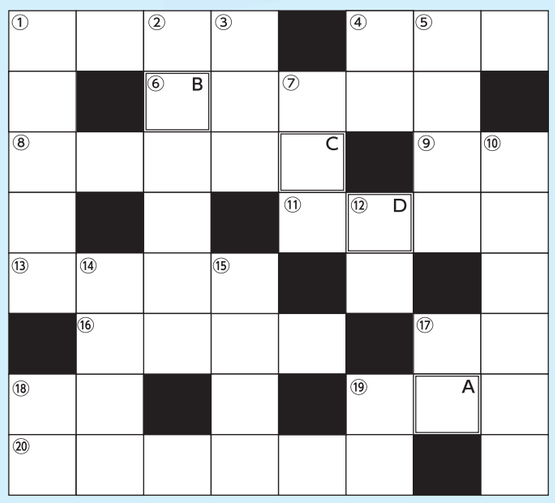
クオカードが当たる!? クイズコーナー

やってみよう 解いてみよう ぎかい探Q（たんきゅう） 11

議会や行政に関するカギのヒントが2・3面にあるかも！



A　B　C　D　C

※３文字目と５文字目には同じ文字が入ります。

下記の「タテ・ヨコのカギ」を参考にマスを埋め、A～Dを並べて出てくる言葉は何でしょうか？１マスにつきカナ１文字が入ります。小さい「ッ」などは大きい「ツ」などと同じ文字として扱います。

応募方法　市議会ホームページに掲載の応募フォーム（右コード）または、はがき、電子メール、ファクスに、郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、クイズの答え、議会報の感想（必須）と、市長の所信表明に対する考えなどを発信する動画の感想（任意・左コードから視聴できます）を書いて市議会事務局（〒573－8666住所不要）へ。12月25日必着。１人１通。抽せんで10人にクオカード（500円分）をプレゼント！当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

動画はこちら

動画は左のコード、または市議会ホームページから見ることができるよ！応募の際にぜひ感想を送ってね！

市議会事務局㊐☎072(841)1528／FAX 072(841)0240
✉gikai@city.hirakata.osaka.jp

タテのカギ

①このクイズコーナーの名称は、「ぎかい○○○○○」です。
②議長、副議長ともに事故（病気等）があるときは、○○○○○○を選出しなければなりません。
③「○○○」⇔義務（の対義語）。
④「手で直につかむ」は「てで○○につかむ」と読みます。
⑤枚方市の予算編成は、総合政策部の○○○○課が担当しています。
⑦自分で食事を作ること。
⑩市議会で議長選挙を投票で行った場合、開票する際に、議員の中から２名の「開票○○○○○○」が指名されます。
⑫本人確認書類としても利用できる「○○ナンバーカード」。
⑭枚方市議会では、議員全員で構成する「全員○○○○会」と、各常任委員会単位で構成する「委員○○○○会」という会議体があります。
⑮「初々しい」は「○○○○しい」と読みます。
⑰枚方市の花は、○○と桜です。
⑱淀川の河川敷に群生するイネ科の植物。高槻市の「鵜殿（うどの）の○○原（はら）」が有名。
⑲調理済みの米飯を鶏卵でオムレツのように包んだ、日本発祥の洋食といえば、「○○ライス」。

ヨコのカギ

①枚方市内の王仁（わに）公園近くには「旧○○○○鋳物（いもの）民俗資料館」があります。
④自分の思うままにできるさま。「自由○○○」。
⑥市議会の会議は、大きく分けて「定例会」と「○○○○○」に区分されますが、枚方市は通年議会制を導入しているため、○○○○○の開催はほぼなくなっています。
⑧夏から秋にかけて「ギーッチョン」と鳴く昆虫。
⑨琵琶湖を源とする淀川は、川の上流部では「○○川」、中流部では宇治川と呼ばれます。
⑪いま一つであること。「○○○○調子が出ない」。
⑬平城京及び平安京を、朱雀大路（すざくおおじ）を境として東西に分けた西側。「○○○○」⇔左京（の対義語）。
⑯ある仕事のために必要な人員のこと。
⑰和歌山県ＰＲキャラクター「○○ちゃん」は紀州犬をモチーフにしています。
⑱元素記号が「Ｉ」（アイ）の元素は、「○○素」です。
⑲「出雲（いずも）○○○」は歌舞伎の創始者と言われている女性です。
⑳議会報の感想は「○○○○○○局」までお寄せください。

委員協議会だより

会議資料はこちら

総務委員協議会　９月14日

（１）防犯灯に係る補助制度の一部見直しについて
（２）ひらかた万博共創事業創出補助制度の創設について
（３）次期行政改革プランの策定について
（４）令和４年度内部統制制度の評価報告について
（５）幼児療育園跡地の活用について
（６）③街区に設置する生涯学習交流センターの開館時間の延長等について

教育子育て委員協議会　９月15日

（１）中学校全員給食に向けての可能性調査及び施設整備等における進捗状況について
（２）教員不足による学校運営上の課題への対応について
（３）今後の中学校部活動の在り方について

市民福祉委員協議会　９月19日

（１）③街区における（仮称）市民窓口等について
（２）後期高齢者医療制度における健康診査等の受診勧奨について
（３）枚方市感染症予防計画の策定について
（４）ひらかたポイント事業の実績と今後の取り組みについて
（５）成果連動型民間委託契約方式（ＰＦＳ）を活用した介護予防事業について
（６）枚方市国民健康保険被保険者を対象とした特定健康診査の受診勧奨について
（７）福祉サービス検索システムの導入について
（８）認知症の人とその家族への一体的支援事業について
（９）不育症治療費助成事業について

建設環境委員協議会　９月20日

（１）可燃ごみ広域処理に係る組合規約変更に向けた協議体制について
（２）杉三丁目地区地区計画の決定について
（３）村野駅西土地区画整理事業及び茄子作土地区画整理事業等の都市計画について
（４）枚方市分譲マンション管理適正化推進計画の策定及び管理計画認定制度の創設について
（５）小中学校体育館空調設備整備ＤＢＯ事業の事業者選定について
（６）都市計画道路長尾杉線（杉工区）の整備工事について
（７）都市計画道路御殿山小倉線の整備工事について
（８）水道事業及び下水道事業に係る整備基本計画・経営戦略の中間見直しについて

●土地開発公社●　●スポーツ協会●

10/11

２つの外郭団体の４年度　経営状況の報告を聴取

報告の概要は次のとおりです。

■枚方市土地開発公社…公有用地の取得は約１３９５平方㍍で、取得に要した金額は７億３５４２万円。
また、公有用地の売却は約７５３４平方㍍で、売却収益は11億５８２０万円。

■公益財団法人枚方市スポーツ協会…収入は３億９３９８万円、支出は４億８７３万円。
※１万円未満四捨五入

◆意見の概要　３年度と比較して、４年度のスポーツ協会の赤字額は増加している。市のスポーツ施策推進のパートナーとしての役割を果たすべく、同協会が安定的に経営できるよう、しっかりと支援すべき。

10/11

４年度　基金の運用状況を聴取

概要は次のとおり。なお、（　）内は基金額。

■くらしの資金貸付基金（５３７０万円）…貸付け０件。返済１９８件、１４５万円

■土地開発基金（７億１５４５万円）…全額を土地取得特別会計へ貸付け。

■水洗便所等改造資金融資基金（１０００万円）…全額を金融機関に預託。融資７件、２２０万円
※１万円未満四捨五入

QA 本会議 質問と答弁

くらしの資金貸付金　安易な貸付けよりも困窮者の自立更生を

質問　くらしの資金の貸付は実績が少ない。社会福祉協議会でも類似の貸付けを実施しているが、同貸付けの廃止を含めた検討について見解を聞く。

答弁　同協議会が実施する緊急小口貸付けという類似事業があることも踏まえ、今後の市事業の在り方について検討を進める。

要望等　安易に貸付けを行うのではなく、生活困窮者の自立更生につながる環境整備を要望する。

4面 用語の解説

＊１　ＤＢＯ（方式）…資金調達を自治体が行った上で、公共施設などの設計、建設、維持管理を一括して民間事業者に委託する手法のこと。

10/11 満場一致

出産する被保険者の保険料を減額

国民健康保険条例の一部改正を可決

今回の改正は、出産する被保険者の保険料を減額するためのものです。

なお、施行日は６年１月１日です。

QA 本会議 質問と答弁

保険料の減額手続　電子申請サービスによる届出も可能とすべき

質問　被保険者の産前産後期間の保険料減額について、制度の周知方法や届出に係る配慮を聞く。

答弁　広報等や母子手帳交付時の周知、国民年金保険料減額届出時の年金事務所等での案内に加え、郵送での届出も可能とする。また、届出ができない場合でも出産を確認できた場合は減額する。

要望等　妊娠届同様、電子申請サービスの届出も可能とするよう要望する。

保険料減額制度　他市では既に実施　市でも検討すべき

質問　八幡市では、子育て支援のため、国の制度に先立ち５年４月から保険料減免を実施しているが、本市でも検討すべきだったのではないか。

答弁　府国民健康保険運営方針に基づき、府内統一基準で実施する。

要望等　所信表明では、子育て世代をターゲットにした施策のより一層の充実を掲げており、本市で実施しないことは疑問であると意見しておく。

10/11 満場一致

市長の給料を30％減額　退職手当を不支給に

給与に関する特別措置条例の制定を可決

本条例は、現市長の任期中における市長、副市長等の給料月額を減額するとともに、現市長の退職手当を不支給とするものです。

なお、給料月額の減額率は次のとおり。
◇市長30％◇副市長10％◇教育長、上下水道事業管理者、病院事業管理者７％◇常勤の監査委員５％

QA 本会議 質問と答弁

市長だけ給料減額割合を引き上げた理由は

質問　市長だけ２期目より給料の減額割合を引き上げている。公職選挙法に抵触するおそれがあるとして報道された件の幕引きと感じる市民もいると思うが、考えを聞く。

答弁　減額割合は公約を体現したものである。報道の件は会見等を通じ誠意を持って説明してきた。今後も丁寧に対応する。

要望等　不信を持たれないよう、誠実に疑惑の解明に努めるよう要望する。

◆その他の意見

意見　市長給料減額の目的は、公職選挙法に抵触するおそれがあるとして報道された件への反省のためではないとのことであるが、今後、様々な事業を着実に進めるためにも、引き続き市民の信頼回復に努めるよう要望する。

10/11 満場一致

夏季の体育教育環境の向上　児童生徒の熱中症予防対策など

小中学校体育館空調設備整備　ＤＢＯ事業請負契約締結を可決

今回の契約は、市立小・中学校における夏季の体育教育環境の向上及び児童、生徒の熱中症予防対策、また、災害時等の避難所としての環境改善を目的として、体育館への空調設備の導入をＤＢＯ（＊１）方式により行うものです。

■契約金額…25億２５０万円

■工期、履行期間…令和22年３月31日まで

※１万円未満四捨五入

QA 本会議 質問と答弁

体育館空調設備整備　災害時での対応は可能か

質問　６年度中に小・中学校体育館に空調設備が整備される。発注時の要求水準書では、災害時等の停電時でも起動可能なものとする等示されているが、体育館を避難所とする際の災害対応について聞く。

答弁　室外機には、都市ガスが供給される限り自立運転ができ、体育館への電力供給も可能な機器を導入するため、災害対応、防災機能の強化につながると考える。

編集後記

何かと気ぜわしい師走、皆さんはいかがお過ごしでしょうか。

このたび、紙面改革や動画の取組が認められ、枚方市議会がマニフェスト大賞の躍進賞部門で優秀賞を受賞しました。（１面参照）これを励みに、紙面や動画を通して、議会活動をより広く発信していきます。

さて、今号では、９月定例月議会の内容を中心に掲載しました。また、記事の構成を一部変更し、「質問」「答弁」「要望等」の時系列順で記載しています。今後も親しみやすい、分かりやすい紙面作成に努めてまいります。

さらに、新たな取組として、市長の所信表明に対する考えなどを発信する動画を作成しました。各会派等の思いをぜひ御覧の上、クオカードが当たるクイズコーナー「ぎかい探Q（たんきゅう）」に御応募いただき、紙面や動画に関する御意見、御感想を市議会事務局までお寄せください。

枚方市議会報は、各会派から選出した委員で構成する議会広報委員会で協議、決定した編集基準に基づき編集しています。

議会広報委員会
委員長…藤田　幸久
副委員長…八尾　善之
委員…松本　佑介、三和　智之、大津真沙樹、小池　晶子、峠　賢一

12月定例月議会

日程はこちら（随時更新）

12月8日から開催

詳しい日程は、12月1日の議会運営委員会で決定します。

枚方市議会報第346号掲載　ぎかい探Q（たんきゅう） 10

答え　うみのいえ

議会は、10月19日の本会議で、３件の意見書を原案のとおり可決しました。

可決した意見書（要旨）

意見書とは…市の公益（市民の日常生活に関わる公共の利益）に関する事項について、議会の意思として議決し、国会または関係行政機関に提出するものです。

脱炭素と自然再興に貢献するサーキュラーエコノミー（循環経済）の推進を求める意見書

政府は、脱炭素と自然再興に貢献するサーキュラーエコノミーの実現のため、左記の措置を講じるよう強く求めます。

記

1. 資源循環促進のための制度の創設、精錬技術の開発や施設の整備を促進すること。
2. ライフサイクル全般での環境負荷低減等の実現を目指して、動脈産業と静脈産業の連携による資源循環ビジネスモデルの普及を促進すること。
3. 建築物等の長寿命化やリノベーションによる価値の最大化を図るために、新たな基準の設定や優遇税制の創設を図ること。
4. リファービッシュ品の製品安全担保等に関する環境を整備し、リコマース関連ビジネスを育成するとともに、シェアリング等のサービスの普及拡大を図ること。
5. 森林循環経済の実現や、高齢化に伴い増加している紙おむつのリサイクルの普及に向けた自治体や事業者の取組を支援すること。
6. 紙資源循環の推進のため、古紙がより多く回収、利用される環境を整備すること。
7. 衣類の循環配慮設計を促進すると同時に、リサイクル素材を活用した衣類を政府や自治体が積極的に使用することで、衣類の循環市場を構築すること。
8. 建設廃棄物の再資源化を、水平リサイクルやアップサイクルへと転換し、資材の量と質の両立を図ること。
9. 自然関連財務情報開示タスクフォース及び気候関連財務情報開示タスクフォースに対して、これら組織が行う作業の算定基盤の創設等を率先して求めること。

〈提出先〉環境大臣、経済産業大臣、国土交通大臣

ブラッドパッチ療法（硬膜外自家血注入療法）に対する適正な診療上の評価等を求める意見書

政府は、現状を踏まえ、脳脊髄液減漏出症（脳脊髄液減少症）の患者への、公平で安全なブラッドパッチ療法（硬膜外自家血注入療法）の適用に向け、左記の措置を講じるよう強く求めます。

記

1. 脳脊髄液漏出症（脳脊髄液減少症）の症状において、約10％は起立性頭痛を認めないと公的な研究でも報告があることを受け、診療報酬の算定の要件の注釈として「本疾患では起立性頭痛を認めない場合がある」と加えること。
2. ブラッドパッチ療法（硬膜外自家血注入療法）の診療報酬において、Ｘ線透視を要件として漏出部位を確認しながら治療を行うことを可能にするよう、診療上の評価を見直すこと。

〈提出先〉厚生労働大臣、国土交通大臣、文部科学大臣

下水サーベイランス事業の実施を求める意見書

新型コロナウイルス感染症の５類感染症への移行後、感染者数の把握方法が定点把握に変更されたこともあり、正確な感染状況が見えづらくなっています。今後起こり得る感染状況のピークや傾向を把握するためにも、また、新たな感染症に対応するためにも、下水サーベイランス（疫学調査）を全国の地方公共団体の下水処理場で実施すべきです。

感染症対策においては適切な検査を正確に行うことが肝要ですが、ＰＣＲ検査の実施などでは、感染者が自主的に検査を受けなければ陽性者を特定できないため、各地域の感染の広がりの傾向をつかむことはできません。しかし、下水サーベイランスを活用すれば、当該地域の見えない感染状況を見える化できるため、感染拡大の初期段階においては、医療機関の検査報告よりも早く兆候が分かる可能性があり、その後においても感染規模や感染者数増減の傾向を把握できます。

また、内閣官房が、令和４年度に実施した下水サーベイランスの活用に関する実証事業でも、その結果報告において「将来の感染状況の予測によって、市民への注意喚起や地方公共団体の体制整備に活用できる可能性がある」と明記されたところです。

よって、政府は、令和５年９月１日に発足された内閣感染症危機管理統括庁を司令塔とし、厚生労働省、国土交通省及び各地方公共団体と連携しながら、早急に下水サーベイランス事業を全国展開するよう強く求めます。

〈提出先〉国土交通大臣、厚生労働大臣、内閣官房長官、感染症危機管理担当大臣